新聞畫會 第廿八号
明治八年三月十八日
越前と近江の境なる
杉の木峠の禁厳にて
二人の死骸あり是ハ
雪頽れて死せし
其人ハ越中の國
高岡阪下町の
富家村田
藤左爾丈婦にて
大坂よりの帰路
九化略記附傳
東京日々
九百七十三号 抜粋